

「熊本県子供の読書活動推進計画（第四次肥後っ子いきいき読書プラン）」に係る

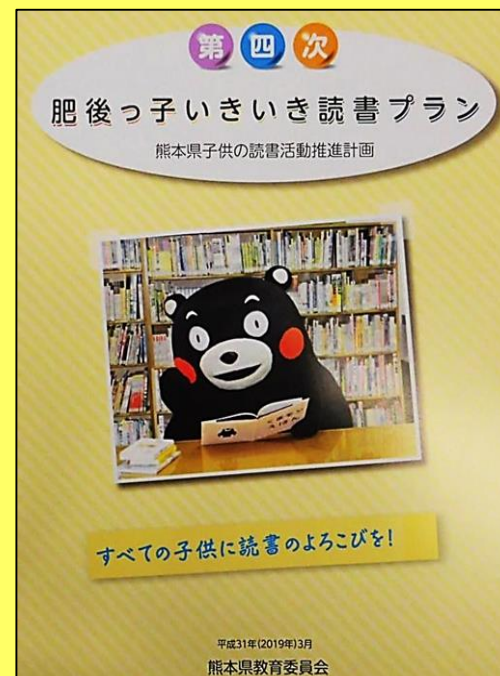
令和2年度

子供の読書活動アンケート調査の結果



第四次プラン期間の5年間（平成31年度～令和5年度）の調査校として、小学校11校、中学校11校、県立高校10校を抽出し、各学年1学級の児童・生徒を対象に実施。
なお、本年度は「令和2年7月豪雨」の被災が著しかった球磨及び芦北地区を除き実施。
回答数：2,886人【小学校(9校):1,207人 中学校(9校):792人 高校(8校):887人】

- 小・中・高の「読書率」が、「過去最高値！」
- 児童・生徒の約80%が、「本を読むことが好き！」
- 読書の一番の理由は、「読みたい本がある！」
- 電子書籍の利用は、「中高生の半数以上！」



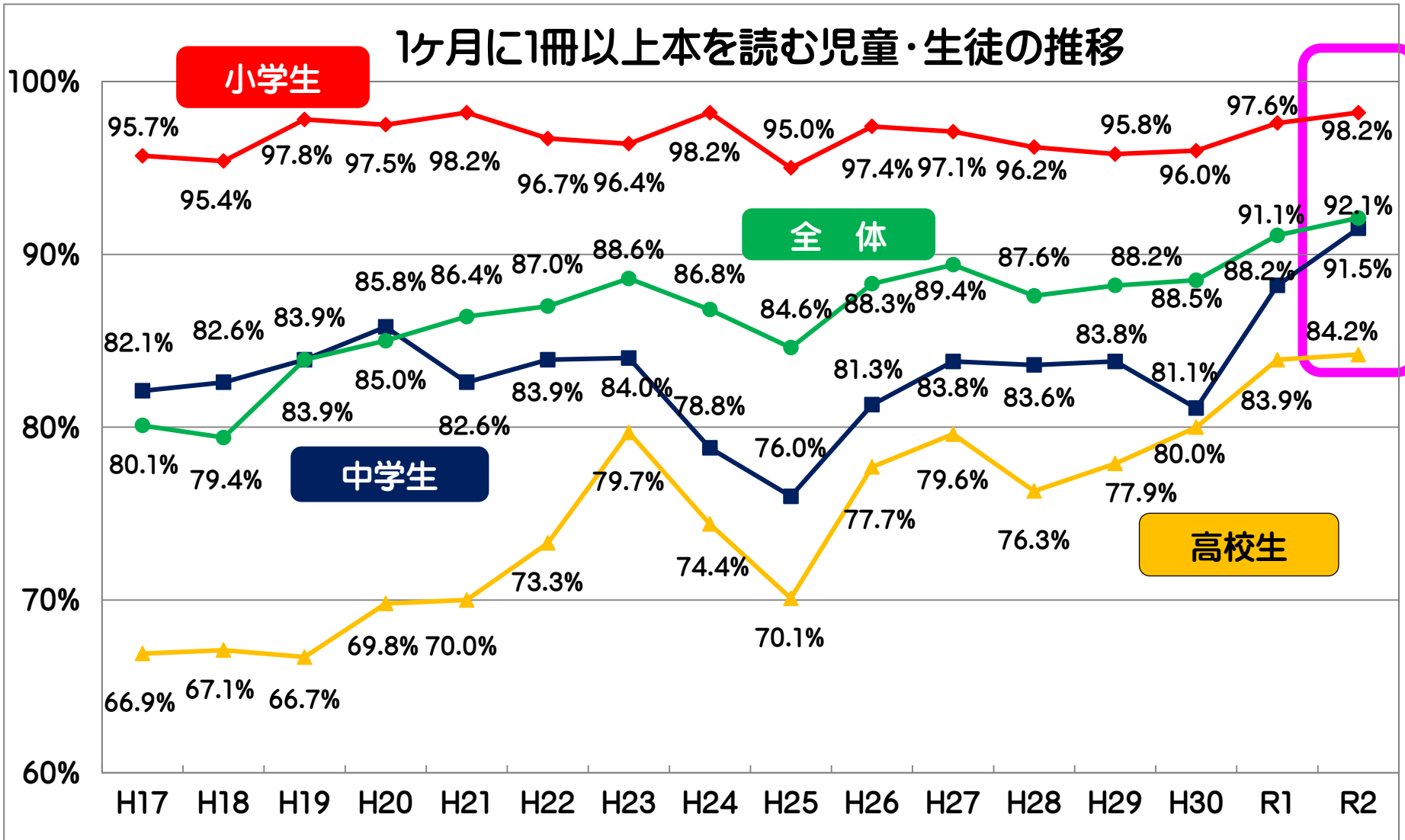
「読書活動アンケート」の内容

～第四次肥後っ子いきいき読書プランをふまえて～

- 問1 本を読むことが好きですか。→興味・関心
- 問2 1か月に何冊くらい本を読みますか。→読書率
- 問3 読書をする場所はどこですか。→機会・場所
- 問4 どのくらい読書をしますか。→頻度
- 問5 読書をする理由はなんですか。→動機
- 問6 電子書籍を読んだことがありますか。

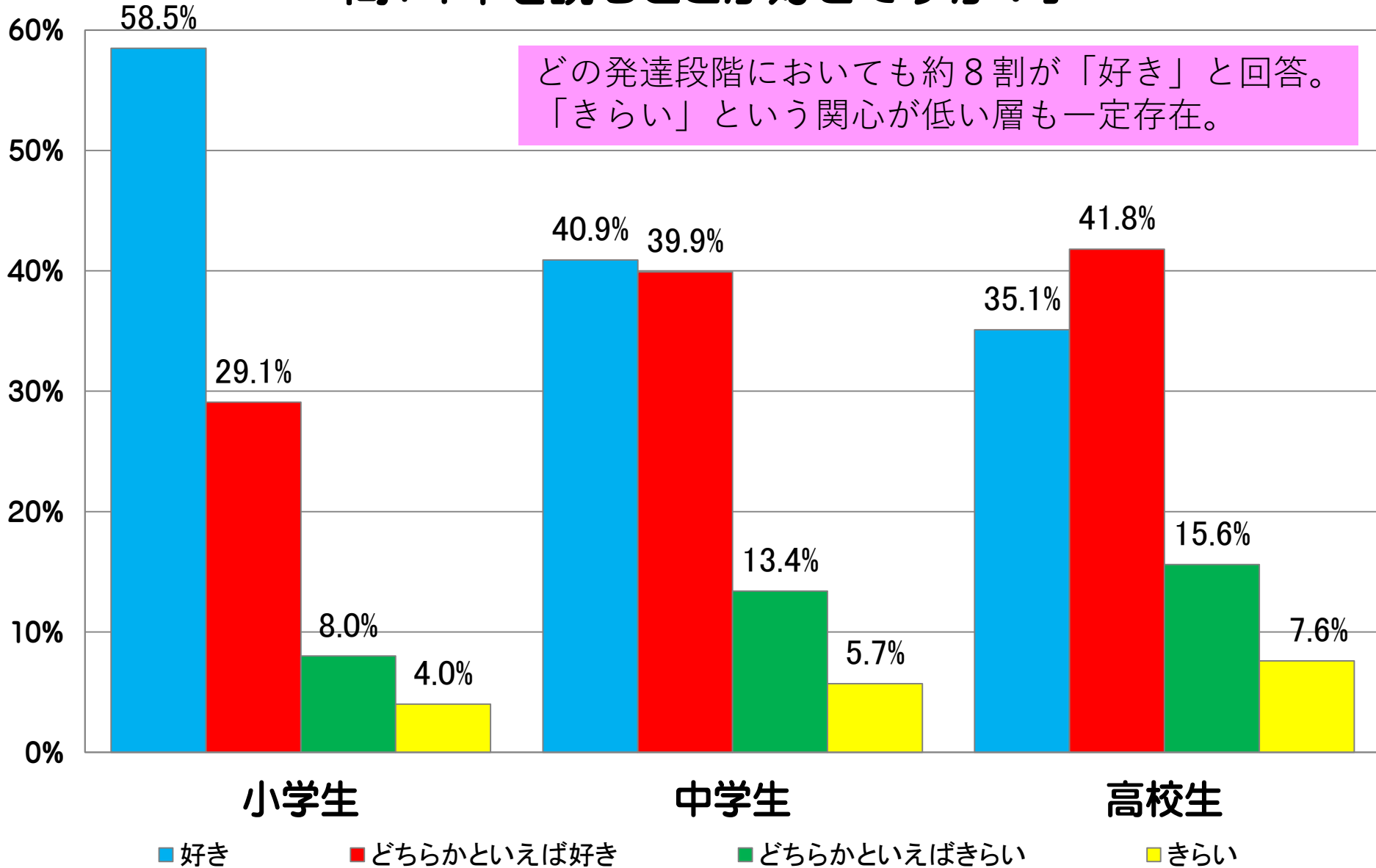
読書率の経年変化(推移)

1ヶ月に1冊以上本を読む児童・生徒の推移



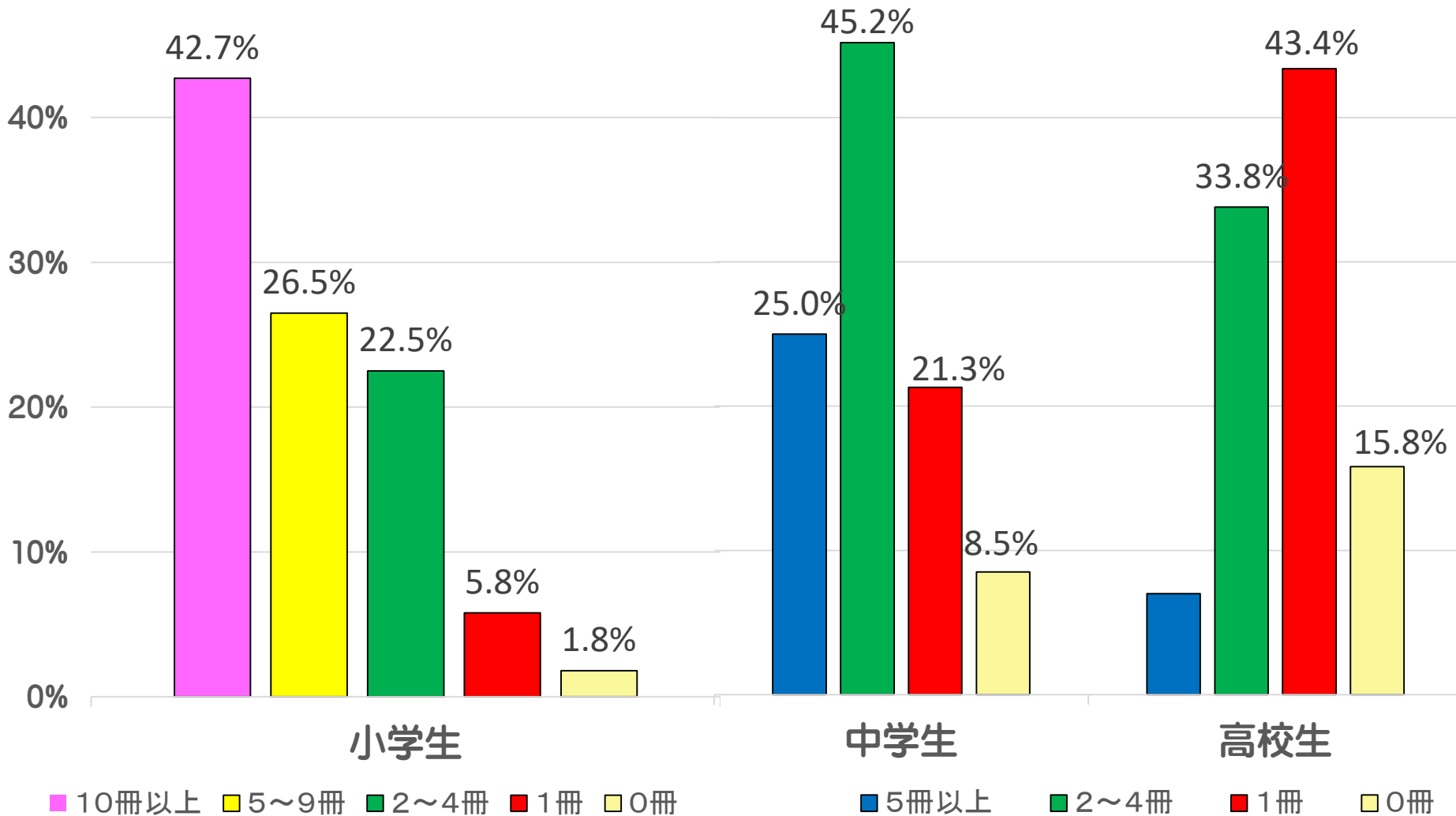
< R1 全国平均 (比) > 小学生93.2% (+5) 中学生87.5% (+4) 高校生44.7% (+39.5)

問1 「本を読むことが好きですか？」



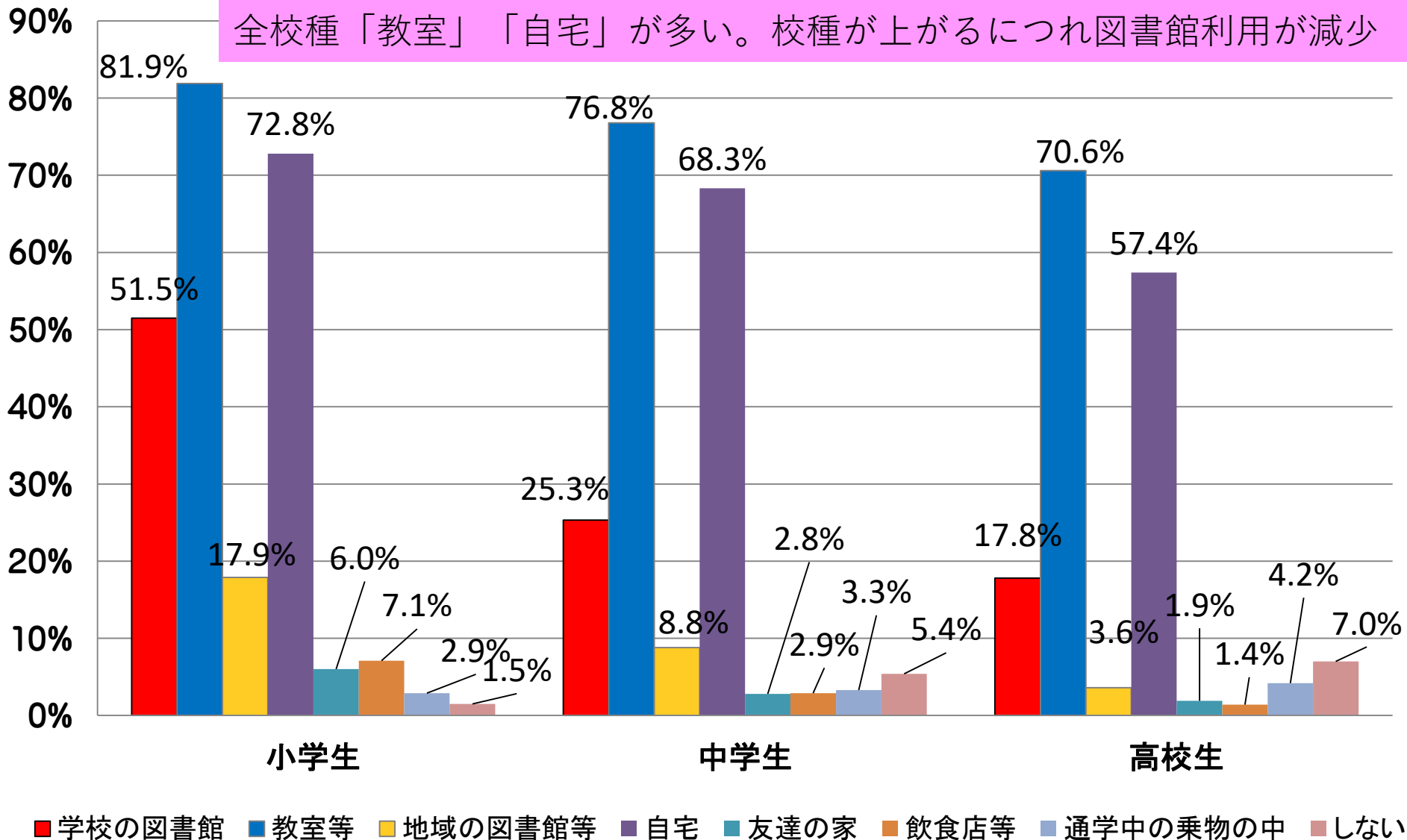
問2 「1か月に何冊くらいの本を読みますか？」

小学校は「10冊以上」、中学校は「2～4冊」、高校は「1冊」が最も多い

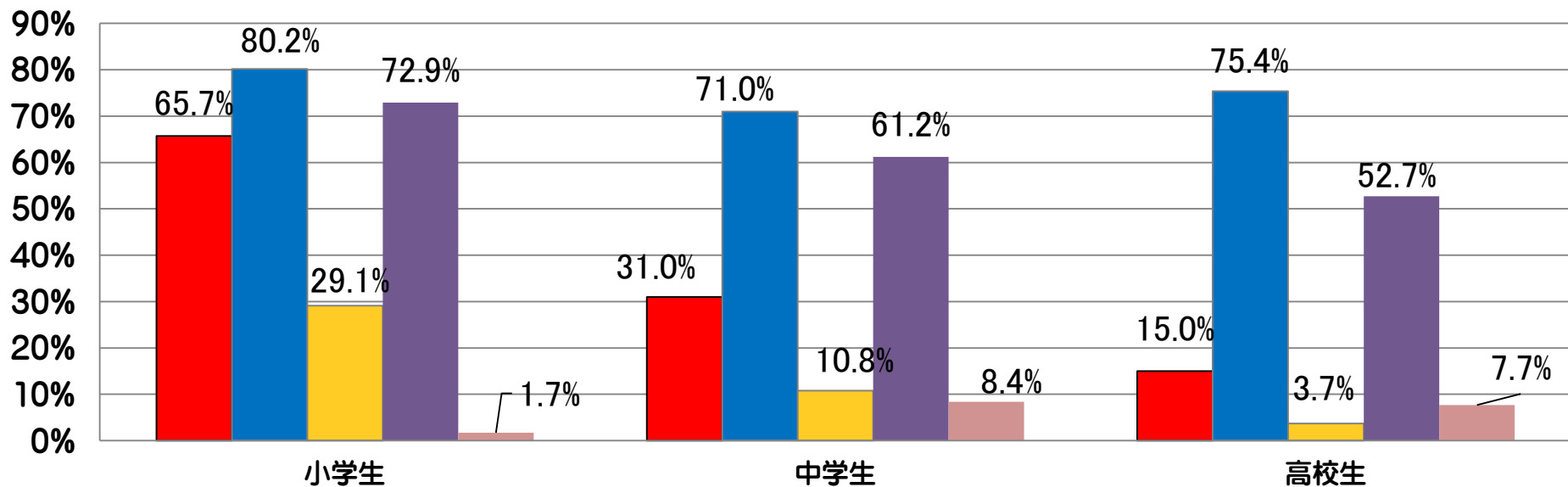


問3「読書をする場所はどこですか？」

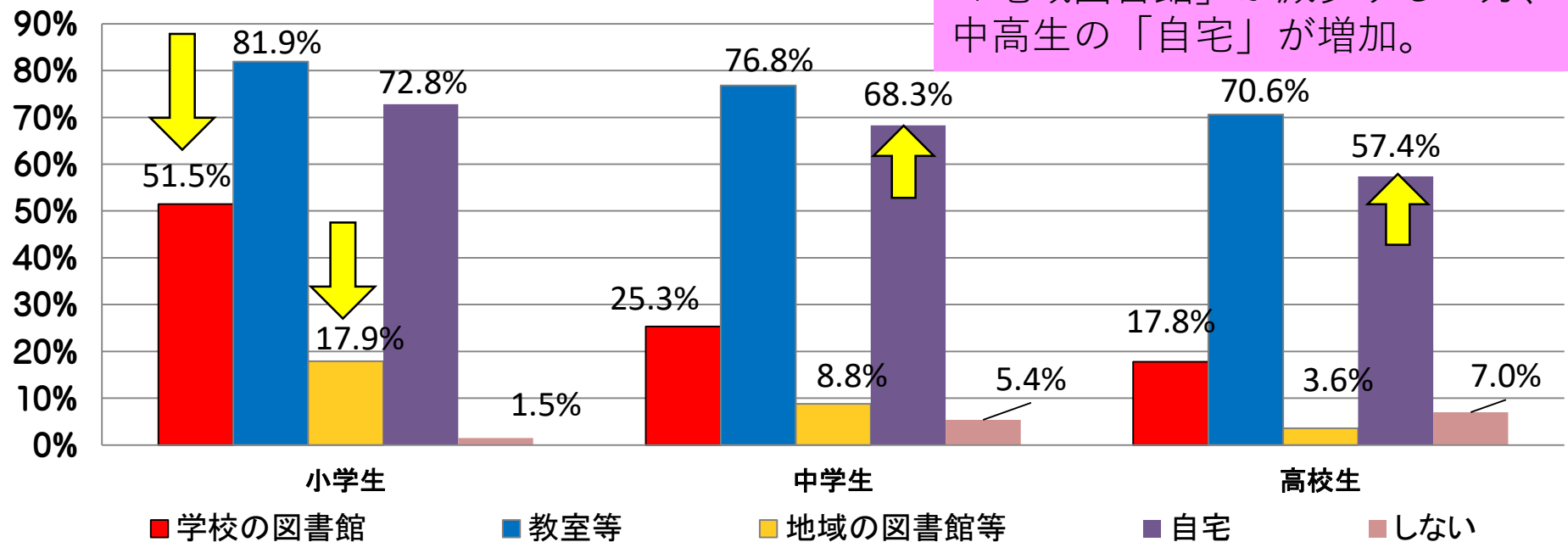
全校種「教室」「自宅」が多い。校種が上がるにつれ図書館利用が減少



「R1 子供の読書活動アンケート」 本を読む場所



「R2 子供の読書活動アンケート」 本を読む場所



R1比で、小学生の「学校の図書館」「地域の図書館」が減少する一方、中高生の「自宅」が増加。

■ 学校の図書館

■ 教室等

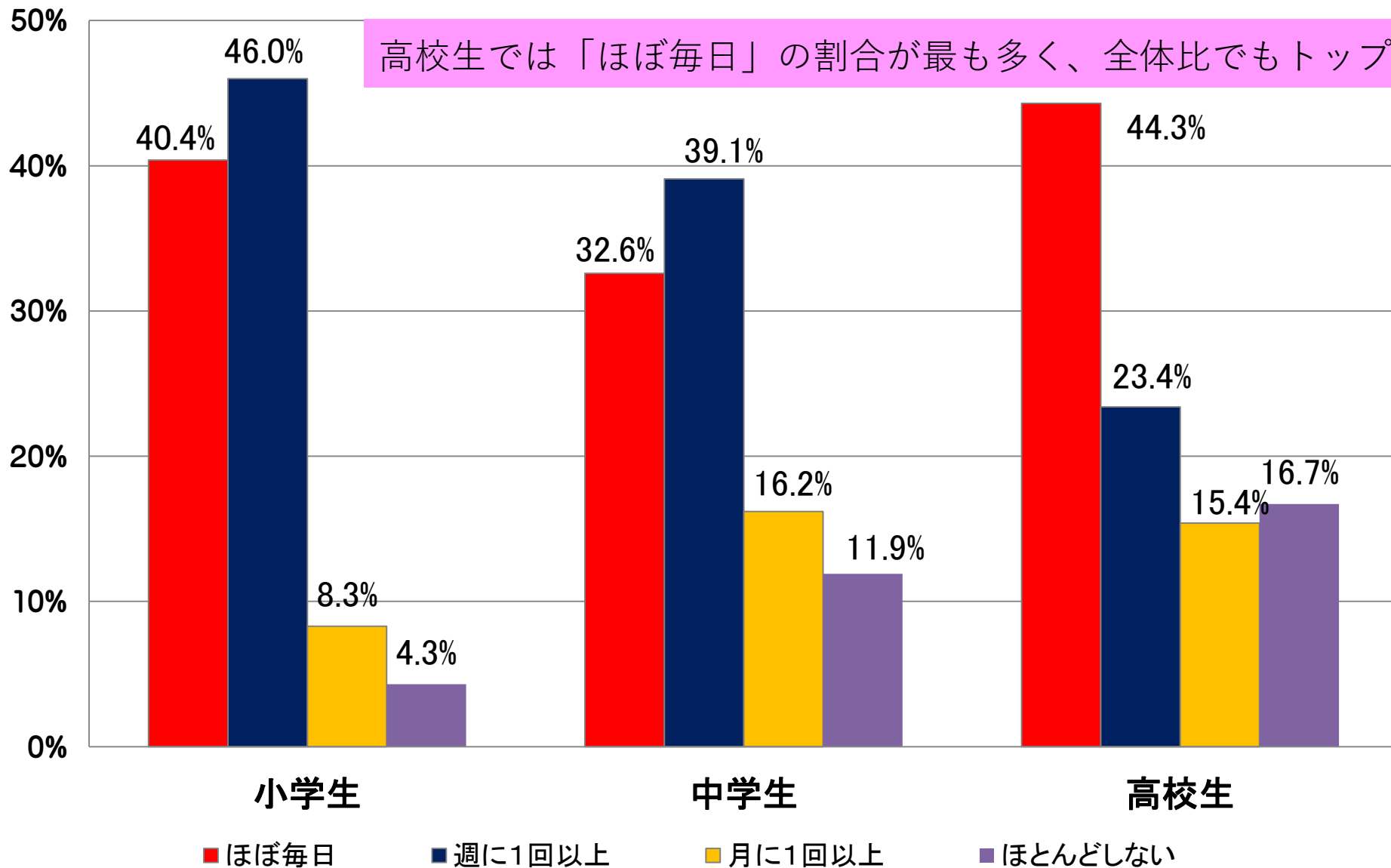
■ 地域の図書館等

■ 自宅

■ しない

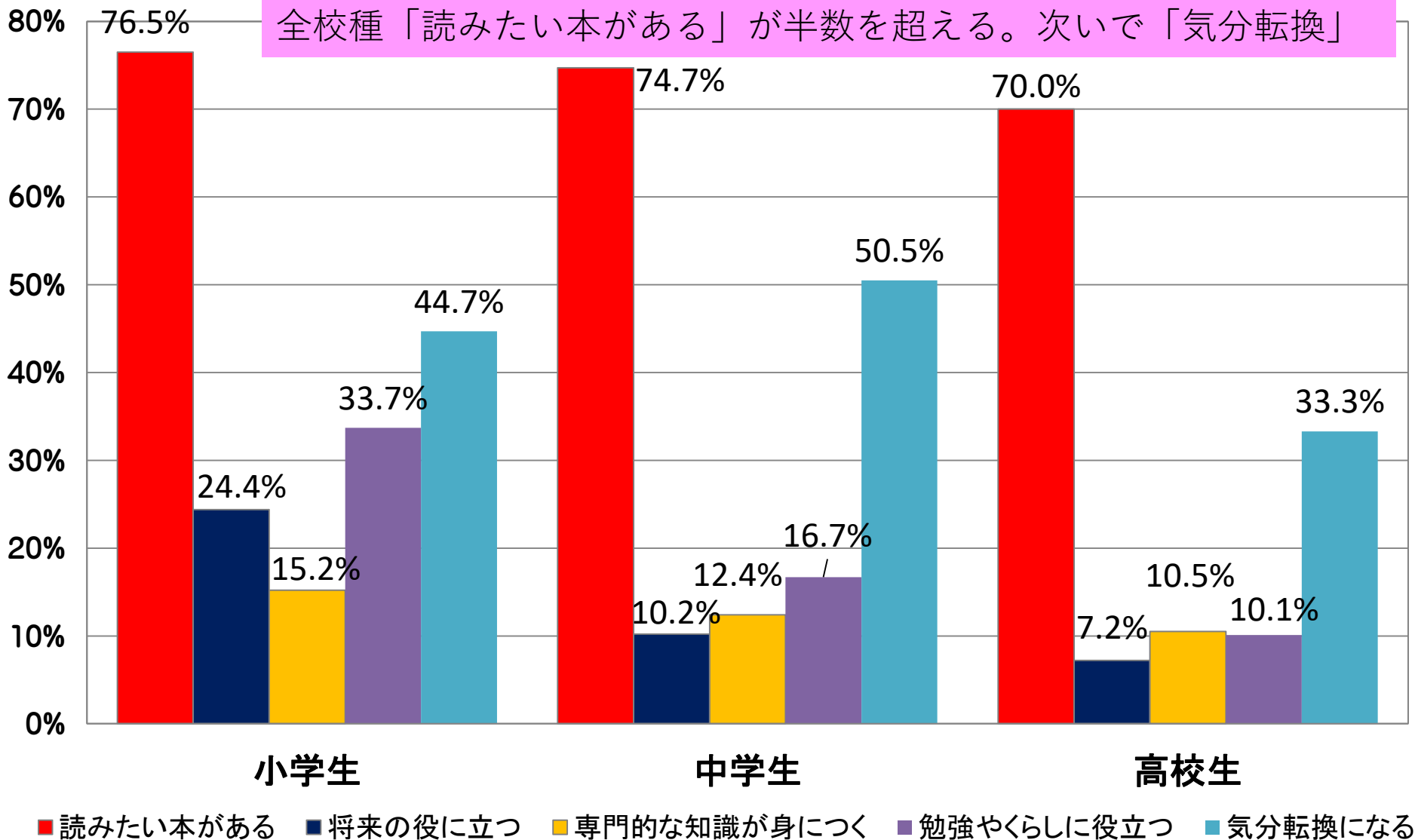
問4 「どのくらい読書をしますか？」

高校生では「ほぼ毎日」の割合が最も多く、全体比でもトップ



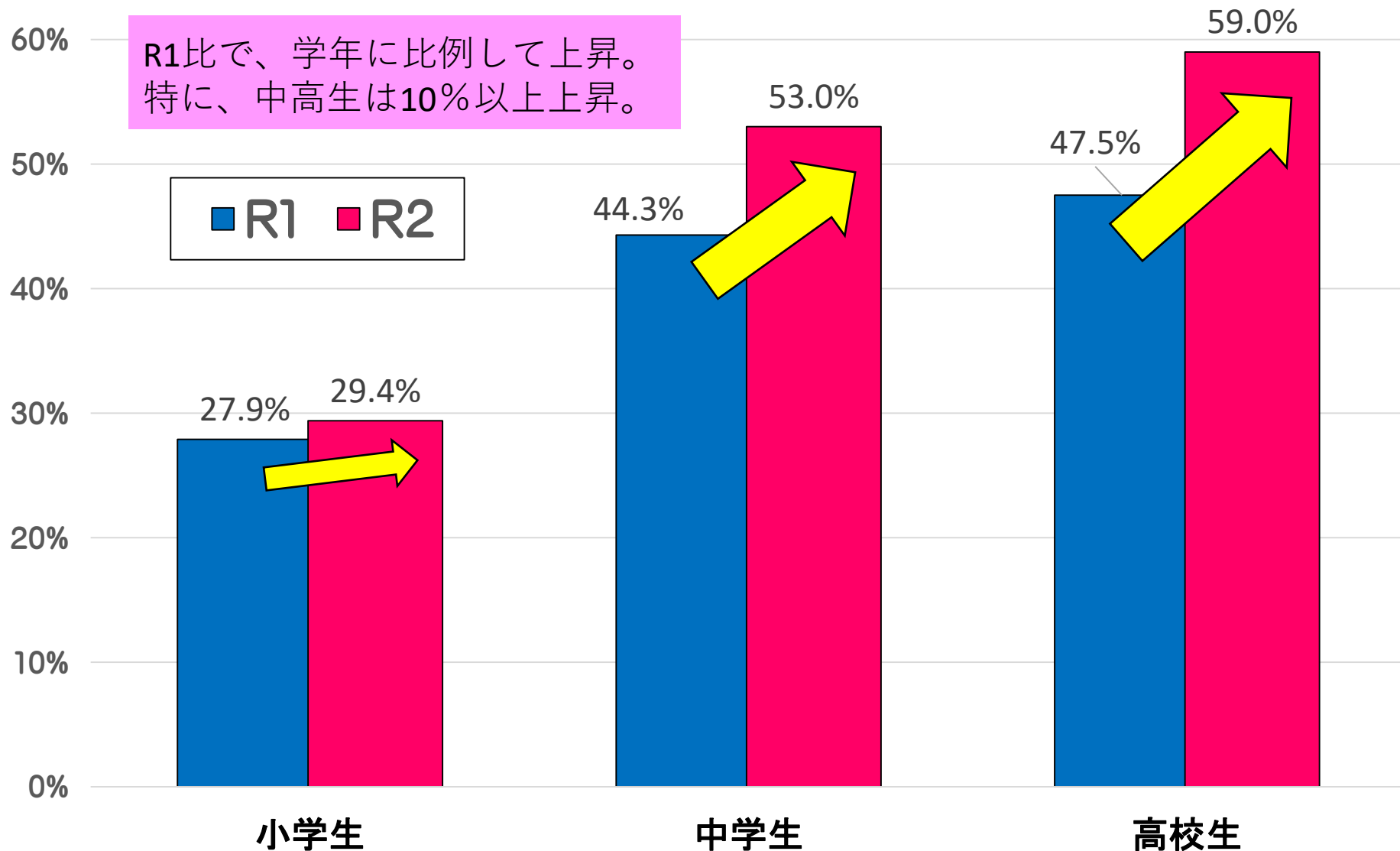
問5「読書をする理由はなんですか？」

全校種「読みたい本がある」が半数を超える。次いで「気分転換」



問6 「電子書籍を読んだことがありますか？」

R1比で、学年に比例して上昇。
特に、中高生は10%以上上昇。



R2年度子供の読書活動アンケート 調査結果のまとめ

- ① 「読書率」が、全て全国平均を上回る(過去最高値)
- ② 全校種で約80%が、「本を読むことが好き」
- ③ 小学生40%が月10冊、中学生25%が月5冊以上
- ④ 「読書をする場所」は、主に「教室」と「自宅」
- ⑤ 約40%が、「ほぼ毎日読書」をしている(高校生が最多)
- ⑥ 「読みたい本がある」が、読書の一番の理由(約70%)
- ⑦ 中高生の半数が、電子書籍を利用(R1比で約10%増)